

# 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？必ず取り組みましょう！



# マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、災害の発生時点「0時間(ゼロ・アワー)」から時間をさかのぼり、一人ひとりがとるべき防災行動のタイミングを整理する行動計画表です。地域の水害リスクや防災気象情報の入手方法を把握し、それぞれの家族構成や生活環境にあったわが家のマイ・タイムラインを作成しましょう(このページでは、台風による河川の氾濫を想定しています)。

備えまでの時間	行政から発信される情報	わが家の備え	《例》〇〇家の備え
5~3日前	行政から発信される情報 黒: 気象・水害情報 青: 河川管理者 緑: 市区町村	「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまで	〇テレビの天気予報を注意 〇家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認 〇避難する時に持って行くものを確認する 〇一週間分の薬を病院に受け取りに行く 〇買い物は雨や風が強くなる前に済ませる 〇テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意 〇家族と連絡を取りあう
2日前	〇台風予報 台風に関する気象情報(警戒レベル1相当)	台風が発生	〇住んでいるところと上流の雨量を確認 〇携帯電話、モバイルバッテリー等の充電 〇ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認
1日前	〇大雨注意報・洪水注意報(警戒レベル2相当)	台風が近づいて、雨や風がだんだん強くなる	〇川の水位を調べ始める 〇道路の通行止め情報がないか、インターネット等で確認する 〇避難しやすい服装に着替える
半日前	〇台風に関する今後の見通し ◇大雨警報・洪水警報(上流域での大雨特別警報)	雨が集まって、川の水がだんだん増える	〇携帯メール等で避難準備情報(高齢者等避難)★の受信 〇土砂災害警戒区域内等に自宅がある場合は、避難を始める
5時間前	水防団待機水位到達 氾濫注意水位到達 洪水予報発表(氾濫注意情報) 要支援者施設に洪水予報(氾濫注意情報)を伝達 避難所の開設 暴風警報	激しい雨で、川の水がどんどん増えて、河川敷にも水が流れる	〇携帯メール等で避難準備情報(高齢者等避難)★の受信 〇土砂災害警戒区域内等に自宅がある場合は、避難を始める
3時間前	避難判断水位到達(警戒レベル3相当) 洪水予報発表(氾濫警戒情報) 避難準備・高齢者等避難開始を発令(高齢者等避難)★	川の水があふれそうになり、いつ氾濫してもおかしくない状態	〇携帯メール等で避難勧告、または避難指示(緊急)を受信 〇安全なところへすみやかに避難(戸締りとブレーカーを確認) 〇避難所への移動が難しい場合には自宅内で安全を確保
0時間(ゼロ・アワー)	氾濫が発生(または切迫)★ 氾濫危険情報発表 緊急速報メール 氾濫が発生した情報	川の水が氾濫	

右の例を参考に書いてみましょう

〇テレビの天気予報を注意  
〇家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認  
〇避難する時に持って行くものを確認する  
〇一週間分の薬を病院に受け取りに行く  
〇買い物は雨や風が強くなる前に済ませる  
〇テレビ、インターネット、携帯メール等で雨や川の様子に注意  
〇家族と連絡を取りあう

〇住んでいるところと上流の雨量を確認  
〇携帯電話、モバイルバッテリー等の充電  
〇ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認

〇川の水位を調べ始める  
〇道路の通行止め情報がないか、インターネット等で確認する  
〇避難しやすい服装に着替える

〇携帯メール等で避難準備情報(高齢者等避難)★の受信  
〇土砂災害警戒区域内等に自宅がある場合は、避難を始める

〇携帯メール等で避難勧告、または避難指示(緊急)を受信  
〇安全なところへすみやかに避難(戸締りとブレーカーを確認)  
〇避難所への移動が難しい場合には自宅内で安全を確保

★: 今後災害対策基本法の改正が見込まれています。

※警戒レベルや防災気象情報は、必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限らず、あくまでも目安です。  
 ※避難勧告等のタイミングは市区町村によって異なります。市区町村のタイムラインを確認して下さい。  
 ※警戒レベル5の時は既に災害が発生している状況です。この時までには避難が完了していない場合は、迷わず命を守る最善の行動をとりましょう。

**マイ・タイムライン使用時の心得**

災害は自然現象であり、マイ・タイムラインがあれば常に安全ということではありません。また、想定した通りに進行するとは限りません。マイ・タイムラインでは、とるべき行動の「何時に」は明確になりますが、注意すべき点もあります。

あくまでも行動の目安として認識する  
 台風の進み方や雨の降り方、水位の上がり方はその都度異なります。

警報や避難情報等こまめに収集・確認  
 気象警報、洪水予報等は状況に応じて臨機応変に発表・発令されます。

情報をもとに、臨機応変に防災行動を  
 氾濫の進行は早まることもありますが、水防活動により遅らせることもできます。